



実戦空手拳法 拳武塾



【拳武塾 塾生紹介】

井高 未貴	石崎小学校 2年	香島中学校 1年	2010白蓮会館全日本空手道選手権大会 第3位
山口 朝美	鳥屋小学校 3年	河北台中学校 1年	第16回全日本少年少女空手道選手権大会 優勝
中島 健雄	小丸山小学校 4年	香島中学校 2年	第16回全日本少年少女空手道選手権大会 ベスト8
新田 隼斗	外日角小学校 4年	香島中学校 2年	第2回オープントーナメント全福井空手道選手権大会 準優勝
狩山 陽斗	石崎小学校 5年	鳥屋中学校 2年	北陸武道連合会空手道選手権大会 第3位
諏訪 暉人	戸板小学校 6年	東雲高校 2年	2009新極真会富山県空手道選手権大会 優勝
杉原 謙弥	香島中学校 1年	一般部	
山口 翼	鳥屋中学校 1年	一般部	
加宅田 凜	香島中学校 1年	一般部	
中村 あみ	緑中学校 1年		



大森由奈 選手
第16回全日本少年少女空手道選手権大会
優勝

加宅田 凜 選手
第16回全日本少年少女空手道選手権大会
第4位

塾生 19人

6月に開催された極真会館主催『第16回全日本少年少女空手道選手権大会』で塾生たちが、日本一や上位入賞など、輝かしい成績を取めた。

「石崎町から日本一や優秀な成績を取めた子どもたちが誕生したということは本当にうれしい。七尾市の子どもたちにも、やればできるという自信を持てるような機会になれば」と話すのは、設立5年目で日本一の空手家を育て上げた塾長の達さん。「立ち上げ

たきっかけは、ただ強い人間や技が上手な人間だけを育てるのではなく、健全な肉体と不屈の精神、そして人格を向上させること。積極的に行動できる勇気と正義感にあふれる真のリーダーを育成したい」と少年少女育成に懸ける達さんの想いは熱い。

塾生たちはその教えを実行している。交友の輪を広げるため、全国の舞台で交えた選手へ積極的に声をかけ、大会後も手紙の交換をするなど、技ばかりではなく、心身の成長もうかがえる。

拳武塾で学ぶ小さな空手家たち。今後の活躍と成長に期待したい。

団体名 拳武塾
塾長 達 嘉浩
師範代 山口利勝
リーダー 大森由奈
山口佳菜

fresh san
さわい りょうた
沢井 亮太 さん
(26歳・藤野町)



このコーナーでは、まちのフレッシュさんをリレー方式で紹介し
ます。沢井さんは前回の泉さんの紹介です。

リレーで紹介
フレッシュさん



「『元氣一番』を
モットーに、何か
あれば頼られるよ
うな営業マンにな
りたい」と話す沢
井さん。富士薬局
七尾営業所に勤め
て3年余り。いわ

ゆる『置き薬』（配置薬）を配るため
に、朝から晩まで薬箱を片手に各家
庭をまわる。担当区域は主に宝達志
水町。はじめは「単に薬を家に置い
てくるだけの仕事」と軽くみていた
が、お客さんに信頼されるにしたがつ
て、そのおもしろさを実感している。

今では訪問した家に人がいなければ
近くの畑まで呼びに行くことも。「一
生薬を飲まないという人はほとんど
おらず、薬は大切なもの。はじめは
断られたお客さんでも、丁寧に説明
すれば、帰り際に『ありがどう』と言っ
てもらえることがある」とやりがい
を感じている。

平日は夜まで仕事で忙しいので、
休日には友達と遊びに行ったり、ド
ライブにでかけたり、のんびりと過
ごす。「これからも地域密着で、何か
困ったときに声をかけてもらえるよ
うな人になりたい」とさわやかな笑
顔で答えてくれた。

なかがわ
中川 健三 さん
(69歳・町屋町)

出身地 兵庫県神戸市



思えば遠くへ
来たもんだ

「七尾市は天国！」と話すのは、10
年前に兵庫県明石市から奥さんの故
郷町屋町（高階地区）にやってきた
中川さん。その理由は、野菜栽培。
マンションのベランダにプランター

で栽培を始め、「次は露地栽培をして
みたい」と奥さんに話したら、「七尾
だったら、どれだけでもできるよ」
と言ったことがきっかけで七尾市に。
そこから中川農園がスタート。「これ
まで3種類の野菜などを栽培してき
たが、タヌキなどの被害が絶えなく
てね。この辺のタヌキは丸々と太っ
ているよ」と笑いながら話す。

来月、10年慣れ親しんだ七尾市を
離れ、明石市に戻る中川さん。「子ど
もから地域の先輩まで、本当に良く
してもらった。感謝に耐えない」と
奥さんとそろって10年を振り返る。
第2の故郷七尾の思い出を満面の笑
みで話す2人がうらやましく思えた。



健三さん、妻 照子さん

このコーナーでは、県外から市内へ転入された人
の声を紹介します。